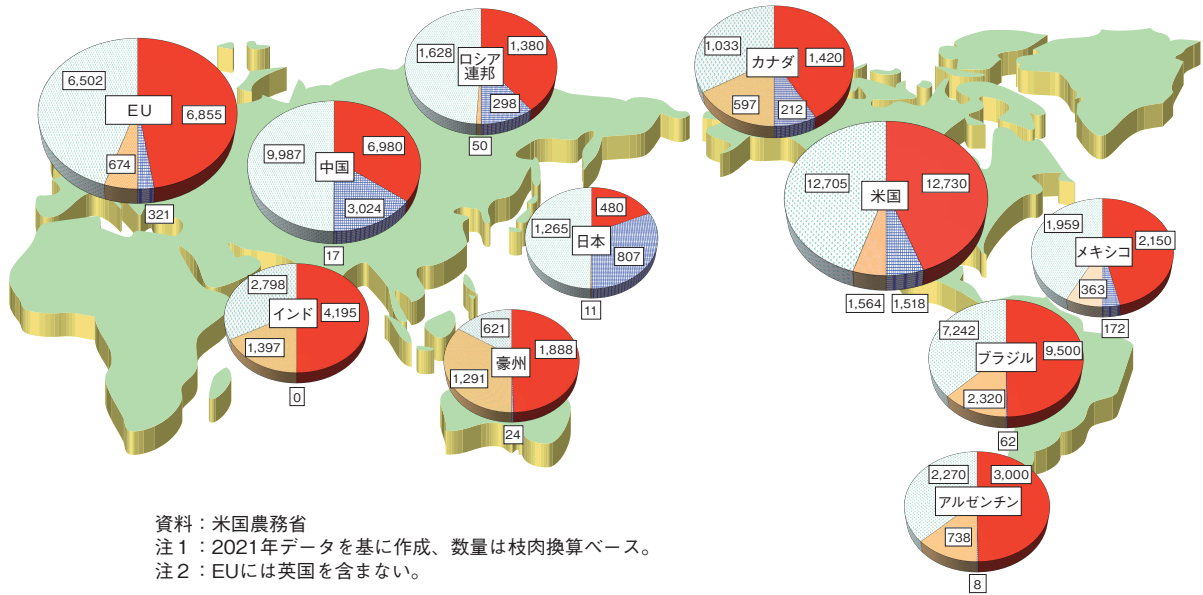


絵で見る世界の畜産物需給

牛肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



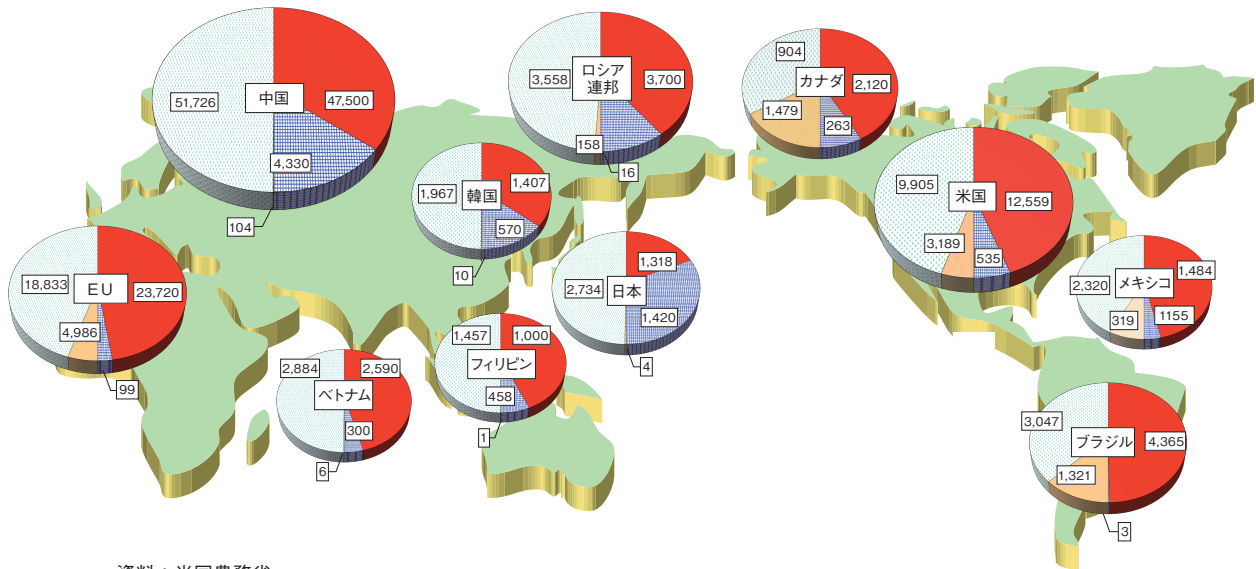
資料：米国農務省
注1：2021年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の牛肉生産量は、7253万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2022年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（1273万トン）、EU（686万トン）などの先進国のほかに、ブラジル（950万トン）、中国（698万トン）、インド（420万トン、水牛肉を含む）、アルゼンチン（300万トン）といった新興国である。牛肉消費量は、米国が世界最大の消費国であるが、中国の消費も増加している。一方、ブラジルやアルゼンチンなど減少に転じたところも存在する。牛肉輸出量は、ブラジル（232万トン）、米国（156万トン）、インド（140万トン）の順に多い。また、日本への輸出量が多い米国や豪州（129万トン）、カナダ（60万トン）の3カ国で全輸出量の約3割を占める。

豚肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



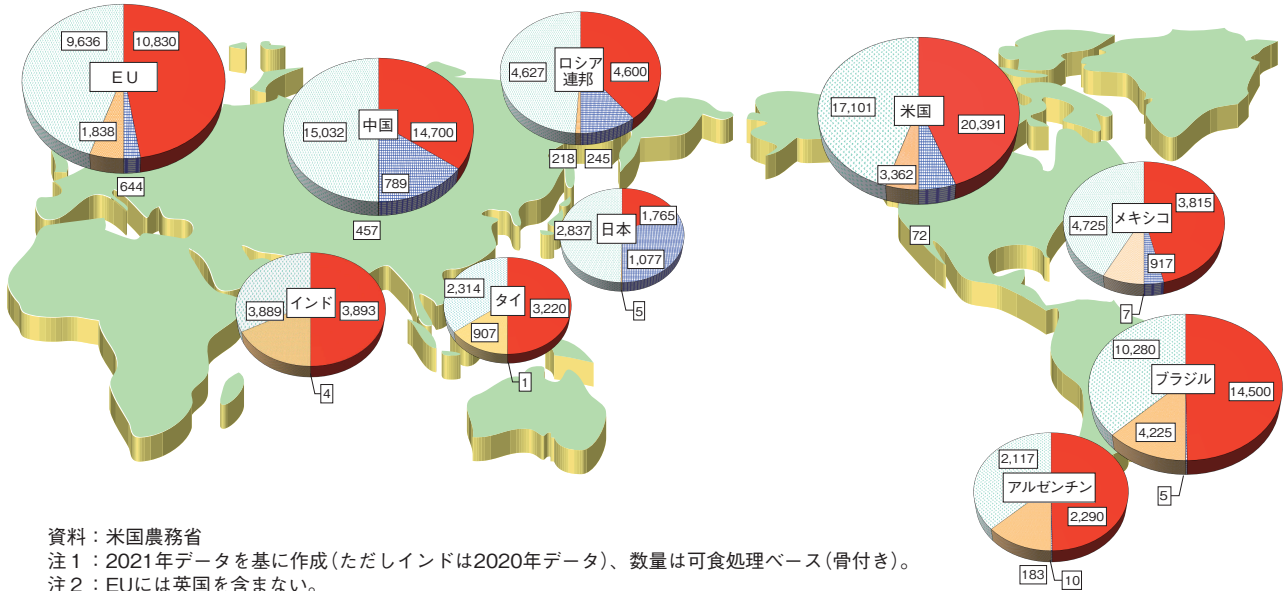
資料：米国農務省
注1：2021年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の豚肉生産量は、1億2251万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2022年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、中国（4750万トン）であり、これにEU（2372万トン）や米国（1256万トン）などが続く。EUや米国は生産量に占める輸出量の割合が高く、中国を中心に輸出量を増加させている。その他の国では、経済成長に伴いブラジル（437万トン）、ロシア（370万トン）、メキシコ（148万トン）の生産量が増加している。中国以外のアジア地域では、ベトナム、フィリピン、韓国などの生産量や消費量が多い。日本は生産量が132万トンであるが、消費量のおよそ半分の142万トンを入力している。

鶏肉



■ 消費量(千トン) ■ 生産量(千トン)
■ 輸出量(千トン) ■ 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

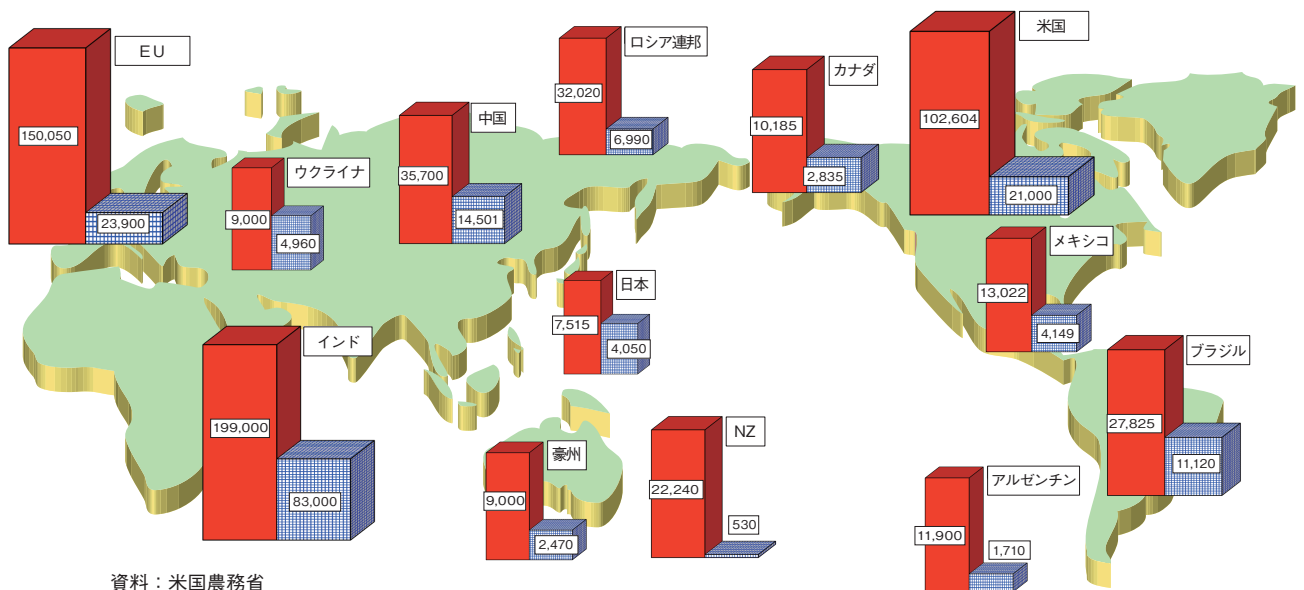
注1：2021年データを基に作成(ただしインドは2020年データ)、数量は可食処理ベース(骨付き)。
注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の鶏肉生産量は、1億54万トン（骨付き換算ベース、1470万トン FAO Food Outlook、2022年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（2039万トン）であり、これに中国（1470万トン）、ブラジル（1450万トン）と続く。このほか、EU（1083万トン）、メキシコ（382万トン）、タイ（322万トン）などで増加している。鶏肉消費量は、米国が最大であり、中国（1503万トン）、ブラジル（1028万トン）なども増加している。鶏肉輸出量は、ブラジル（423万トン）、米国（336万トン）、EU（184万トン）、タイ（91万トン）の順に多く、ブラジルと米国で世界の輸出量の約5割（56%）を占める。

生乳



■ 生乳生産量(千トン)
■ 飲用乳消費量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2021年データを基に作成、数量は水牛乳を含む。
注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の生乳生産量（水牛乳含む）は、9億2780万トン（FAO Food Outlook、2022年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、インド（1億9900万トン）、EU（1億5005万トン）、米国（1億260万トン）などであるが、インドは水牛乳が生乳生産量の約5割を占める。地域別に見ると、最近では、インドや中国などの生乳生産量の増加が著しい。2021年の貿易量（輸出量・生乳換算）は8813万トンと見込まれ、その貿易率は9.5%と穀物や砂糖、牛肉、家きん肉などと比べて低い。主要輸出国（地域）は、EU、ニュージーランド、米国、豪州などである。